

(別紙 1)

領収書添付一覧

会派名

代表者名・議員名

宮本 知里

整理番号	年月日	支出内容	費目	支出金額
1	2026. 2. 12	自治体議会特別セミナー 受講料	研修費	10,000 円
2	2026. 3. 31	リーフレット印刷代金	広報費	54,362 円
3	2026. 3. 31	リーフレット郵便料金	広報費	48,000 円
合 計				112,362 円

(別紙2)

領収書等添付用紙

会派名

代表者名・議員名 宮本 知里

整理番号	1	支出年月日	2026.2.12
費目	研修費	金 額	10,000 円
領収書・その他証拠書類 添付欄			
別紙参照			
事業名、使途及び内容		「自治体議会特別セミナー」	
		セミナー受講料「議員の資質向上と議会運営の基本」 ～自治体議会研究所～	
備考			

議員名：宮本知里

(別紙) 自治体議会特別セミナー受講 (領収書)

領 収 書

宮本 知里 様

金 10,000 円

上記正に領収しました。ただし、自治体議会特別セミナー
受講料として。

令和8年2月12日

自治体議会研究所 (三重県津市白山町二本木 545)

代表 高 沖 秀 宣  印

(別紙2)

領収書等添付用紙

会派名
代表者名・議員名 宮本 知里

整理番号	2	支出年月日	2026.3.31
費目	広報費	金 額	54,362 円
領収書・その他証拠書類 添付欄		別紙参照	
事業名、使途及び内容		「政務活動報告として」	
リーフレット印刷 A4 両面 カラー 800 部×@45 円			
郵送用封筒印刷 封筒 長 3 621 部×@20 円			
宛名ラベルプリント 一式×@1,000 円			
備考			

御 請 求 書

宮本 知里

様

2026年3月31日

締切分

ページ

1

株式会社 豊予社

代表取締役 菊池 史行

■本社

〒796-0010 愛媛県八幡浜市松柏甲771番地1

TEL : 0894-22-0144 FAX : 0894-23-2779

■大洲營業所

〒795-0064 愛媛県大洲市東大洲9番地2

TEL : 0893-24-7736

■E-Mail : hop@houyosha.jp

■URL : <https://houyosha.jp>

登録番号 T6500001008424

お客様コード

前回御請求額	御入金額	繰越金額	今回御買上額	消費税(10%)	
			49,420	4,942	

今回御請求額

54,362

日 付	伝票番号	品 名	数 量	単 価	金 額
3/31		議会活動報告 Vol.1	800	45.00	36,000
3/31		封筒 長3	621	20.00	12,420
3/31		宛名ラベルプリント 議会活動報告用	1	1,000.00	1,000

領 収 証

2026年 3 月 31 日

宮平 知里

様

金額				7	5	4	3	6	2
----	--	--	--	---	---	---	---	---	---

但し

上記の金額正に領収いたしました。

株式会社 豊予 社

本社／八幡浜市松柏甲771番地1 TEL 0894-22-0144
大洲営業所／大洲市東大洲9番地2 TEL 0894-22-0144
プリントラボ宇和島店／宇和島市新田1番41号阿武マンション1F TEL 0895-22-6028

取扱者印

菊池史行

(別紙2)

領収書等添付用紙

会派名
代表者名・議員名 宮本 知里

整理番号	3	支出年月日	2026.3.31
費目	広報費	金額	48,000 円
領収書・その他証拠書類 添付欄			
領収書 宮本 知里 様 [別納引受] 区内特別基 (定) 12.0g @96 500通 ¥48,000 ----- 小 計 ¥48,000 郵便物引受合計通数 500通 課税計(10%) ¥48,000 (内消費税等(10%) ¥4,363) 非課税計 ¥0 合計 ¥48,000 お預り金額 ¥50,000 おつり ¥2,000  〒100-8792 日本郵便株式会社 東京都千代田区大手町2-3-1 登録番号 T1010001112577 取扱日時：2026年 3月31日 16:10 発行No. 260331A4794 端N13箱02 連絡先：八幡浜郵便局 TEL:0570-943-164			
事業名、使途及び内容			
リーフレット 郵便料金 500 通 × @96			
備考			

(別紙3)

調査活動報告書

会派名

代表者名・議員名 宮本 知里

年月日	2026 年 2 月 12 日			
視察・研修場所	八幡浜市民文化活動センター			
参加者氏名	宮本 知里			
目的内容等	「議員の資質向上と議会運営の基本」を学ぶ ・ 新人議員として学ぶべき事項 ・ 議会運営の基本 ・ 通年制議会について ・ 政策提案の原点 ・ 議員力、議会力の強化 ・ 政務活動費の活用 ・ ポストコロナ時代の議会運営			
上記活動に 要した経費	区間	交通機関・施設	積算	金額（円）
合計			円	
備考				

※調査研究報告書（別紙4）を添付して提出すること

(別紙4)

令和7年度 調査研究報告書

会派（議員）名	宮本 知里	会派代表者名	
事業名	自治体議会特別セミナー		
事業区分	②研修		

1. 八幡浜市での課題と調査、研修の目的

2026年 新人議員特別セミナーin 八幡浜

講師 自治体議会研究所 代表 高沖 秀宣 氏

新人議員として「議員の資質向上と議会運営の基本」を学ぶ

2. 実施概要

実施日時	視察先	担当部局
2026.02.12		
報告内容（感想、市政への活用等）		
■実施概要 令和8年2月12日、自治体議会研究所代表の高沖秀宣氏によるセミナーを受講。本セミナーでは、「議会の役割とこれからの地方議会のあり方」について学び、議員としての責務を改めて見つめ直す貴重な機会となりました。 ■報告内容 (1) 議会の役割について 「議会の根拠となる法令について」 ・日本国憲法第93条 地方公共団体には「議事機関」として議会を設置することが定められている。 ・地方自治法第89条 普通地方公共団体の議会は、この法律の定めるところにより当該普通地方公共団体の重要な意思決定に関する事件を議決し、並びにこの法律に定める検査及び調査その他の権限を行使する。 これらを踏まえ、市議会は単なる「議決機関」ではなく、住民の意思を反映させるために審議し、熟議する機関であるべきとの考えが示されました。 (2) 自治体議会には次の2つの機能が重要である 1. 執行機関の監視・評価機能（行政運営が適切に行われているかをチェックする役割）		

2. 議会からの政策形成機能（議員自らが政策を立案・提案していく役割）

・議会運営の基本「二元代表制」について

二元代表制とは、首長と議会議員を住民がそれぞれ直接選挙で選ぶ制度であり、相互にけん制と均衡を図りながら自治体運営を行う仕組みである。

・二元代表制は機能しているのか？ 議会の存在意義は何か？

(3) 通年制議会について

通年会期制を採用している議会は、栃木県および14市30町村となっており、また、定例会を条例で年1回と定めている議会は、三重県、滋賀県および42市38町村となっている。

通年議会の主なメリット

1. いつでも会議を開くことができるため、慎重な議案審議や専門的な調査が可能となる。
2. 必要に応じて委員会を開催でき、調査研究活動や議員間討議の活発化が期待できる。
3. 市政に対する監視機能および政策立案機能の強化につながる。
4. 市長や議員が必要に応じて議案を提出できる。
5. 年間を通じて議案審議が可能となるため、市長の専決処分を最小限に抑えることができる。

(4) 政策提案の原点 議会における政策提案のあり方について 具体的な手法。

政策提案の主な手法

1. 予算修正

議会として予算を修正することにより、直接的に政策へ関与する方法。

2. 一般質問から議会の政策提言へ

一般質問で行われた議員個々の政策提言を、議会全体の意思として集約し、政策提言へとつなげていく手法

※例えば、東広島市議会では、定例会終了後にアンケート調査を実施し、議会運営委員会で内容を整理したうえで、「決議」として市長部局へ提出する取組が行われている。また、「決議」という形式に限らず、政策提言書を議決し市長へ提出する方法も考えられる。奥州市議会では、常任委員会からの政策提言書を議決し、市長へ提出する取組が行われている。

3. 政策提言等の作成

政策立案は、市政課題の解決を目的として行われるものであり、その課題は常任委員会の所管事務調査を通じて明らかになるケースが多いと考えられる。

このことから、政策立案は所管事務調査の延長線上にあるものと捉え、その実施主体は常任委員会とすることが適当であると示される。

■今後の方向性（考察）

今後は、常任委員会における調査研究を基盤として、政策提言へとつなげていく仕組みづくりが重要であると考えます。

そのためには、政策提言に関するガイドラインを整備し、議員間での討議を深めながら、議会としての意思形成を図っていくことが必要であると感じました。

（5） 議員力・議会力の強化

議会の機能を十分に発揮するためには、「議員力」と「議会力」の向上が重要であると学びました。

・加須市議会基本条例

議会力および議員力について定義がなされており、議会全体と議員個々の双方の能力向上の必要性が示されています。

また、議会改革とは何かについて、次のように示されました。

・**議会改革とは** 二元代表制のもと、議会が本来の役割を十分に発揮するために、その機能を強化すること ＝「議会力の強化」

■考察

議会の機能強化のためには、議会全体としての取組だけでなく、議員一人ひとりが資質向上に努めることが不可欠であると感じました。

今後は、研修や調査研究を通じて知識と見識を高めるとともに、市民の声を的確に捉え、政策提言につなげていく議員活動を意識して取り組んでまいります。

（6） 政務活動費の活用

議会活動を充実させるための財源として政務活動費の意義と活用方法について

・地方自治法第 100 条

政務活動費は、議員の調査研究その他の活動に資するため、その経費の一部として交付されるものとされている。

政務活動費の考え方

1. 調査研究その他の活動に資するための経費として交付される
2. 基本は「調査研究」に重点的に充てるべきである
3. 充てることができる経費の範囲は、条例で定められている
4. その他の活動についても、「調査研究」につながるものであることが求められる

■考察

政務活動費は単に消化するものではなく、返還を前提とするのではなく、政策の調査研究に積極的に活用し、政策提言や政策立案へと結びつけていくことが重要であると感じました。

今後は、市民福祉の向上に資する政策形成につながるよう、効果的かつ適正な活用に努めてまいります。

(7) ポストコロナ時代の議会運営

ポストコロナ時代における議会運営のあり方について、多様性とデジタル化の観点から学びました。

1. 多様性のある議会の実現

少なくとも「ゼロワン議会（女性議員が0人または1人の議会）」からの脱却が求められており、女性議員が立候補しやすい環境整備の重要性が示される。

2. オンラインによる委員会の開催

オンラインを活用した委員会開催により、柔軟な議会運営が可能となります。また、一般質問に限り、本会議においてオンラインでの実施も可能。

実際に、つくば市議会（令和5年9月議会）、登別市議会（令和5年12月議会）において実施されている。

3. オンラインによる本会議の開催

災害時や緊急時においても議会機能を維持するため、オンライン本会議の検討も進められている。

4. 議員政治倫理条例について

議員の資質向上と信頼確保のため、政治倫理条例の整備が重要である。

近年では、ハラスメント防止条例の制定・施行も進んでいる。

■考察

今後の議会運営においては、多様な人材が参画できる環境づくりとともに、ICTを活用した柔軟で持続可能な議会運営が求められると感じました。

特に女性議員の参画促進やハラスメント防止の取組は、誰もが安心して活動できる議会づくりにつながる重要な視点であると考えます。

■感想

全体の感想として、今回の講義を通じて、議会の本来の役割は単に議案の可否を判断するだけでなく、住民の声を丁寧にくみ取り、議論を深めることにありと改めて感じました。

特に「熟議」の重要性については、日々の議会活動の中で意識して取り組むべき視点であると再認識しました。

さらに、議会には執行機関の監視・評価機能だけでなく、政策を自ら立案し提言していく役割が求められており、そのためには議員一人ひとりの資質向上と、議会全体としての機能強化が不可欠であると感じました。

また、通年議会のあり方やオンラインの活用、多様性の確保など、時代に即した議会運営の重要性についても深く認識する機会となりました。

今後は、本研修で得た知見を市政にしっかりと反映させ、市民の皆さまの声を大切にしながら、より開かれた議会運営と政策提言に取り組んでまいります。

※視察先の写真を添付すること



郵便区内特別



八幡浜市議会議員
みやもとちさと

〒796-0003 八幡浜市大平 1-774-7
TEL: 0894-21-4870



@CHISATO_MIYAMOTO

八幡浜市議会議員

みやもとちさと

新人議員としてのスタート

昨年8月の選挙におきまして、多くの皆様のご支援をいただき、市議会議員として活動を始めさせていただきました。新人議員としての出発は、「議会とは何か」「議員の役割とは何か」を学ぶことからでした。地域の皆様のお声を伺いながら、現場を大切に日々活動しております。

9月・12月・3月の
3回実施しました！

議会での主な活動（一般質問）

市民の皆様から寄せられた声をもとに、議会では一般質問を行いました。地域の暮らしに関わる課題について、市の考えや取り組みを確認しました。

■ 高齢者、子ども、障がいのある方が自然に交流できる共生型の居場所づくりについて

少子高齢化により地域のつながりが薄れ、高齢者の孤立や子育て負担、障がいのある方の居場所づくりが課題となる中、誰もが自然に交流できる共生型の居場所づくりについて取り上げました。市は、地域共生社会の実現に向けて先進事例を研究し、本市での実現の可能性を探っていく考えを示しました。誰も取り残さないまちづくりのため、地域、企業、専門職、行政が連携し、安心して相談できる体制づくりを進める必要があります。

■ 福祉・子育て支援について

誰もが安心して暮らせる地域づくりのため、福祉や子育て支援の取り組みについて質問しました。

昨年12月の一般質問で提案した抗菌砂の導入が実現し、砂場の衛生環境改善と子どもたちが安心して遊べる環境づくりにつながりました。

■ 高齢者の移動支援について

高齢化が進む中、買い物や通院など移動手段の確保は大きな課題です。昨年9月議会において、私が初めての一般質問として、高齢者および障がいのある方の外出支援事業における補助額の増額を要望いたしました。

このたび3月議会の当初予算案におきまして、補助額が年額13,200円から18,000円へと増額計上されました。また、高齢者向け制度における対象要件のうち、世帯に関する要件が廃止されたことにつきましても、関係者の皆様

のご尽力に心より感謝申し上げます。

市民の皆様の声が形となり、施策として一歩前進したことを大変意義深いものと受け止めております。



議員活動日記

上下水道使用料等検討委員会の現地視察へ。
八幡浜浄化センター、神越ポンプ場建設予定地、川之内浄水場をまわりました。



社会福祉協議会が主催する活動に参加させていただきました。地域の皆さんと専門職と一緒にニーズを語り合える場を作ってくださっています。“縦割りではなく、横のつながりを大切に。” そんな想いを改めて感じた一日でした。



本気の海のごみ拾い、本気のSDGsに参加しました！



14 海の豊かさを
守ろう



「瀬戸内海年末大掃除 in 八幡浜」(2025年12月)

これからも取り組みたいこと

- ・ 高齢者が安心して暮らせる地域づくり
- ・ 子育て世代が住みやすいまちづくり
- ・ 地域の暮らしを支える福祉の充実
- ・ 市民の声を大切にした市政



おわりに

私は社会福祉士として福祉の現場に関わってきた経験を生かし、地域の皆様の暮らしに寄り添った活動を続けていきたいと考えております。地域の皆様から「ちーちゃん議員！」と声をかけていただくことが増え、親しみを感じていただけていることを大変うれしく思っています。「ちーちゃんが出ているから、普段は見なかった議会だよりや広報も見ようになったよ」「ちーちゃん議員、ここが困っているのよ」このように気軽にお声をかけていただけることが、私にとって何よりの励みです。

これからも地域行事などにもできる限り参加し、皆様にとって身近で相談しやすい議員でありたいと思っています。小さなことでも構いませんので、どうぞお気軽にお声をお寄せください。これからも「ちーちゃん議員」として、地域の声を市政へ届けるため、一步一步取り組んでまいります。

「大切なお知らせとお願い」

いつも温かい応援をいただき、本当にありがとうございます！

政治家には守るべき大切なルール（公職選挙法）があります。実は、皆さまへの寄付や、当選後のお礼、年賀状や暑中見舞いなどの「ご挨拶」を形にすることは法律で制限されています。

本当は直接お礼状をお送りしたい気持ちでいっぱいですが、ルールを正しく守ることも政治家としての責務だと考えています。どうか温かく見守っていただければ幸いです。

プロフィール

生年月日：1974年生まれ

出身校：白浜小学校、愛宕中学校、八幡浜高校、
松山東雲女子大学（在学中短期語学留学
経験あり）、日本メディカル福祉専門学校

資格：社会福祉士、日本習字教授免許取得

趣味：音楽、映画鑑賞

好きな食べ物&飲み物：果物、コーヒー

平成 18 年 たけし接骨院 開設

平成 26 年 たけし株式会社設立

平成 27 年 デイサービスようなるデイ 開設

たけしケアプランセンター 開設

令和 6 年 デイサービスようなる広場 開設

暮らしの中での困りごとなど、
お気軽にご相談ください。



@CHISATO_MIYAMOTO

活動の様子は
こちらから▶



連絡先

みやもとちさと

〒796-0003 八幡浜市大平 1-774-7
TEL: 0894-21-4870